

19 情報収集・分析力向上研修



～情報収集・分析の基本を学ぶ～

| | |
|------------------|--|
| 目的 | 「分析とそれに付随する情報収集業務」を改めて見直し、その上で行政課題発見、改善の基礎的な技術を身に付けることにより、職場のリーダーとして必要な「企画提案力、分析力」の向上を図る。 |
| 内容 | (1) 課題解決のための分析ステップを学ぶ。 (2) 仮説構築の必要性和方法を学ぶ。 (3) 適切な情報収集のために、「そもそも「情報」とは」から学ぶ。 (4) 目的につながる分析・解釈を、「定量的な分析（統計等）」と「定性的な分析（例：SWOT分析）」に大きく分け、概要を学ぶ。 (5) 情報を課題解決につながるツールとして効果的に役立てるために、様々な「図解手法」を演習を通じて学ぶ。 ※テクニカルな統計分析・データ分析等については扱いません。 |
| 実施月日 | 【第1組】 8月 5日（木）～ 6日（金） 【第2組】 10月21日（木）～22日（金） 【第3組】 12月16日（木）～17日（金） |
| 対象者 | 【市町村職員との合同研修】 ・中堅キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員 12名×3組＝36名 ・係長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員 12名×3組＝36名 ・採用2年目～係長級の市町村職員 12名×3組＝36名 |
| 研修講師 (プロフィール) | 株式会社行政マネジメント研究所 専任講師 佐野 青子（さの はるこ）氏 1990年 大学卒業後、マーケティングリサーチ会社、シンクタンクを経て、海外消費財商社にてマーケティング業務に携わる 2002年 マーケティングコンサルタントとして独立。企業内マーケティング支援、社員教育、経営企画サポートを実施 2004年 企業講師として活動開始 2008年 EG（エマジエネティック）プロフィール認定トレーナー資格取得 2013年 G C D F-Japanキャリアカウンセラー資格取得 株式会社行政マネジメント研究所 専任講師として活動 2019年 「2030 SDGsゲーム」公認ファシリテーター資格取得 2020年 「SDGs de 地方創生」ゲーム公認ファシリテーター資格取得 |
| 昨年度受講者の声 | ・情報収集する際は目的をしっかりと定める、分析解釈等分かりやすく表現するといった日常業務に直結することが学べ、納得感が高かった。 ・撤退戦略という発想がなかったのでとても印象に残った。 ・研修全体をとおしてとても分かりやすく、目的や手法が明確だったので集中して講義を受けることができた。事例が多く具体的イメージが沸きやすかった。 ・情報収集・分析はそれ自体が目的ではなく、目的を達成するための手法であり何のために行うのかを明確にしておくことが重要だということが分かった。 |

| 日程表 | | 8:50 | 9:20 | 9:30 | 12:00 | 13:00 | 16:30 |
|-----|----|-----------|--|------|---|-------|----------|
| 1日目 | 受付 | オリエンテーション | 1 EBPM及び分析の基本視点 ・EBPM(証拠に基づく政策立案)とは ・そもそも分析が必要な理由 2 目的を押さえる ・目的意識と相手意識 ・課題の絞り込み | 昼食 | 3 仮説を立てる ・仮説の必要性、重要性 ・手持ちの情報で仮説を立てる ～フェルミ推定～ ・仮説を立てるための材料を洗い出す 4 適切な情報収集をする ・情報の種類 ・情報の入手 ・情報を見極める ・統計とは ・統計の見方 ・フレームワークを使って情報収集をする | | |
| 2日目 | 受付 | | 5 目的につながる分析、解釈をする ・分析する(定性分析、定量分析) ・解釈する | 昼食 | 6 分かりやすく表現する ・視覚化のセオリー ・グラフは言語 7 総合演習とコミットメント | | アンケート・閉講 |

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。